
第3章 計画の基本目標

1 基本目標

第8期計画では、前計画で定めた「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるために、健康でやさしい心のふれあうまちの実現」を引き続き基本目標として掲げます。

本市では今後もさらに高齢化が進み、令和22年(2040年)には高齢化率が40%に迫ると推計されています。こうした将来を見据えて、地域における人と人とのつながりを一層強化し、住民が共に支え合い、心のふれあうまちの実現を目指します。

◆◇◆ 基本目標 ◆◇◆

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるために、健康でやさしい心のふれあうまちの実現

2 基本目標実現に向けて～地域包括ケアシステムの深化・推進～

基本目標を実現するためには、前計画に引き続き、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が必要不可欠です。

「地域包括ケアシステム」構築のため、第7期計画では以下のことに取り組んできました。

- 高齢者が要介護・要支援状態となることを防ぐ介護予防の取り組み
- 地域の中で住民が相互に支え合い、生きがいを持って生活できるような生活支援体制の構築
- 高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れたまちで暮らし続けることができるよう、ケアマネジャーをはじめ地域包括支援センターなどさまざまな職種や関係機関が連携し、高齢者を総合的に支援するためのネットワークの構築
- 住み慣れた地域で医療と介護を受けながら療養生活を送り、最期を自宅で迎えたいと望む人やその家族が安心して在宅療養・在宅看取りを選択できる体制の構築



※ 地域包括ケアシステム…高齢者等が住み慣れた地域で、安心して尊厳あるその人らしい生活を継続していくため、介護保険制度によるサービスだけでなく、その他の多様な社会資源を本人が活用できるように、包括的および継続的に支援すること。

第8期計画では引き続き、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」を深化・推進していきます。

さらに、団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢化率が40%に迫る令和22年(2040年)に向け、地域包括ケアシステムを支えている介護人材の確保や、業務効率化の取り組みなどを強化していく必要があります。

3 基本目標実現のための取り組み分野

第8期計画では、基本目標を実現するため、以下の4つの分野に取り組みます。

生涯現役で生き生きと活動的に暮らせるために(第4章)

高齢者が地域社会の一員として、生涯にわたり心身ともに健やかで心豊かに生活できるよう、生きがいつくりと健康づくりを推進していきます。

地域で支え合い、住み慣れたまちで暮らせるために(第5章)

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域の介護予防・生活支援の体制を整備していきます。さらに、高齢者の心身の状況に応じた支援体制の構築を目指し、行政サービスの提供と併せて地域の支援者および関係機関とのネットワークの強化を図ります。

自分に合った環境で安心して暮らせるために(第6章)

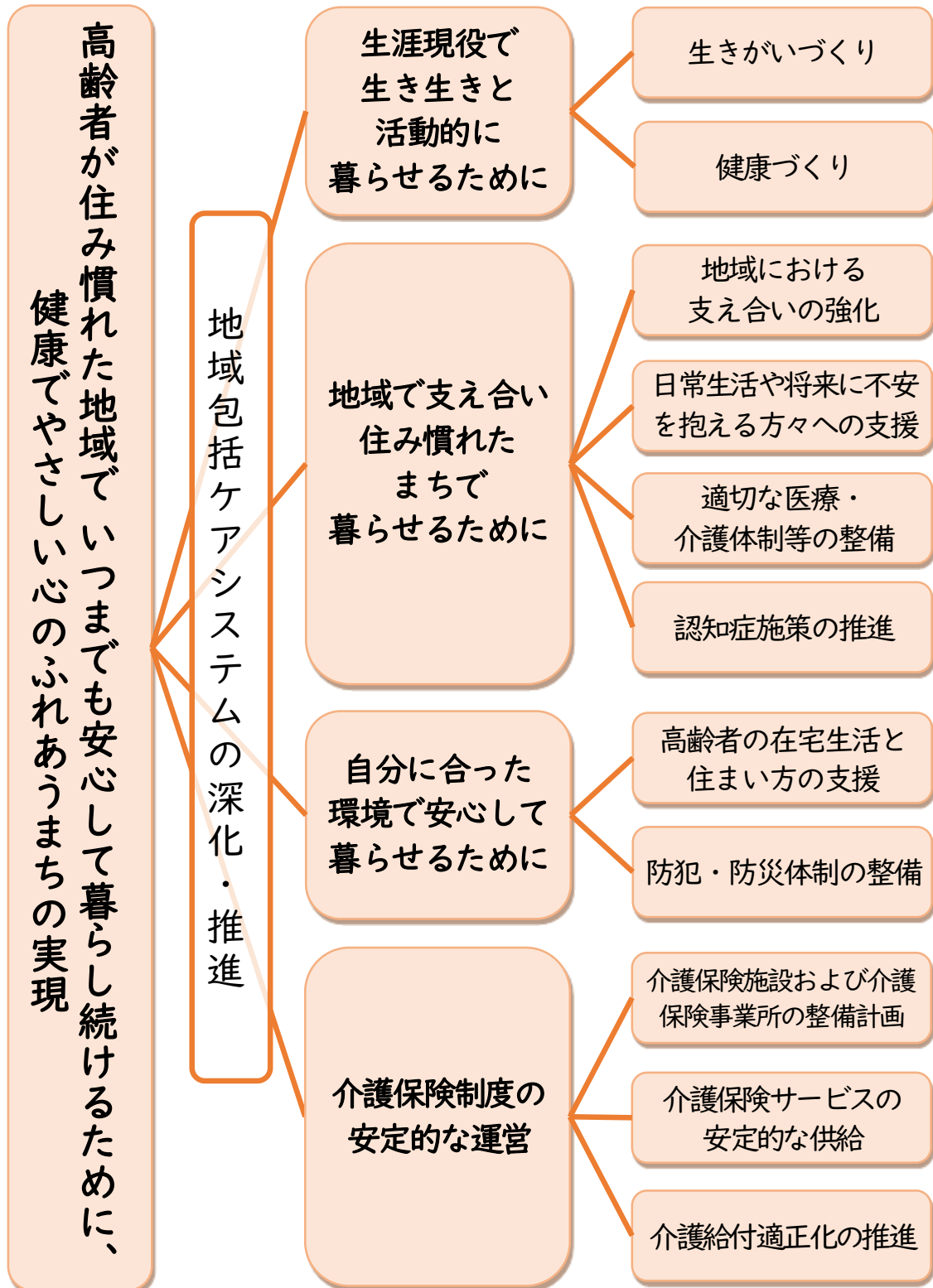
高齢者が安心して暮らし続けるために、さまざまな在宅支援サービスの提供や自分に合った住まいの確保を支援するとともに、地域による見守り体制の強化や災害時の体制等の整備を推進していきます。

介護保険制度の安定的な運営(第7章)

市は保険者として、介護保険施設等の整備計画や介護給付費のサービス種類ごとの推計等を基にした介護保険給付費など、介護保険の安定的な運営を図るために必要な事項を、第8期介護保険事業計画の中で定めます。

また、介護給付の適正化への取り組みを推進し、持続可能な介護保険制度を目指します。

4 体系



新型コロナウイルス感染症流行について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、令和2年2月に本市主催の各種イベント、講演会、教室等の中止・延期を決定し、併せて市民へ外出を控えるよう協力を求めました。

令和2年4月7日から令和2年5月25日まで新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されました。以降も、感染症対策のための新しい生活様式(※1)に基づき、イベント、講演会、教室等の開催規模縮小や中止・延期の決定を行っています。

本計画に記載する令和元年度の実績値および令和2年度の実績見込み量については、新型コロナウイルス感染症対策による影響を受けています。

なお本計画期間中(令和3年度～令和5年度)の見込み量については、令和3年度以降の感染症流行状況の予測がつかないため、感染症対策のための事業規模縮小や事業中止がないものとして、算出することとしました。

※1 新しい生活様式…人と身体的接触を回避することによる接触を減らすこと、マスクの着用、手洗いなど、一人ひとりが日常生活の各場面の中で感染症対策を実践していくことを言います。